

旧藤坂家住宅主屋

所在地：南さつま市加世田武田字下鴻 17830-1
構造規模：木造平屋建，棧瓦葺 面積 218.5 m²
年代：明治後期

敷地中央に南面し，木造平屋，入母屋造り棧瓦葺で下屋を廻らす。正面東寄りに玄関を構え、北面西端に奥座敷を張出す。前列西側の表座敷では、トコの左右に床脇を配す。室内壁を赤色とし、繊細な欄間をたてるなど、麓集落加世田の住宅形式を伝える。地域的特色が濃厚な近代住宅と言える。登録有形文化財 46-0106 平成 25.06.21 登録
登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



旧藤坂家住宅蔵

所在地：南さつま市加世田武田字下鴻 17830-1
構造規模：土蔵造 2階建，瓦葺 面積 47.5 m²
年代：明治後期

敷地南東隅に東西棟で建ち，桁行 6.0m，梁間 5.0mの土蔵造 2階建，切妻造棧瓦葺で，東面に土蔵造の下屋を，北面の戸口に吹放しの下屋を設ける。布石を腰高に三段積んで基礎とし，外壁は漆喰塗で，西面上下階に小窓を穿つ。屋敷景観を引き立てる土蔵である。

登録有形文化財 46-0107 平成 25.06.21 登録
登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



旧藤坂家住宅門

所在地：南さつま市加世田武田字下鴻 17830-1
構造規模：木造，間口 1.9m
年代：明治後期

敷地西面南端の市道沿いに構える。一間腕木門，切妻造棧瓦葺で，本柱後方に石製の控柱を立てて腕木を支持する独特な形式。門の左右に落棟の袖塀を設け，その両端から前方にのぼす塀をさらに落棟とし，基礎を凝灰岩切石積とするなど，変化のある外観を持つ。

登録有形文化財 46-0108 平成 25.06.21 登録
登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



旧藤坂家住宅石塀

所在地：南さつま市加世田武田字下鴻 17830-1
構造規模：石造 高さ 1.2m，総延長 52m
年代：明治後期

住宅西側の市道沿いと敷地内の通路沿いに築かれた石塀。江戸切仕上げの直方体の凝灰岩布石を，高さ 1m内外に精緻に積上げ，総延長 52mを測る。

出隅部では，最上段の積石上角を反らせる細工がされており，加世田集落の屋敷構えの特徴を示す。

登録有形文化財 46-0109 平成 25.06.21 登録
登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの

